

The Music Star

Bringing you the latest music news in the world



プロの音楽家の「謎」に迫る

指揮者の鈴木優人さん、ピアニストの牛田智大さんにインタビュー

2024年7月14日、サントリーホールで行われたこども定期演奏会の後、「“謎”に包まれている」プロの音楽家の日常について聞いた。



謎をとく特派員6人と記念写真をとる鈴木優人さん（後列右）と牛田智大さん（後列左）

1

なぜ音楽家になったのか

鈴木さんは両親が音楽家だった。音楽家になりなさいと言われてたわけではないが、音楽に囲まれた環境だったので、様々な活動をしているうちに、自然と音楽の道に進むことになった。

牛田さんは小さい頃からピアノが大好きで幼稚園に入る前にすでにピアニストになりたいと思っていた。ピアノがオンで学校がオフというくらい、ピアノ中心の生活を送っていた。

2

音楽家の生活

鈴木さんは複数の楽器を弾き、スポーツもする。ルールをきちんと守れば怪我は防げるし、今まで1回しか怪我をしたことがない。

牛田さんは手を傷つけないように、スポーツは子どものころからあまりやらない。指を痛めないために洗い物などの水仕事をする際は手袋をしている。長時間、手を水につけることは避けている。

3

本番前の過ごし方

鈴木さんは本番の前に食べるようにしているものは特にない。なぜかと言うと特定の食べ物を食べると決めてしまうと、本番前にもしそれがなかったらパニックになってしまうからだ。

牛田さんは本番前は緊張してしまい、あまり重いものは食べたくなくなる。楽屋に入って最初にすることはクーラーを消すこと。筋肉を温めておくことで、本番で楽に弾けるようにするためだ。

サントリーホールのエレベーターの秘密

サントリーホールの大ホール用エレベーターは約500kgのスタインウェイのフルコンサートグランドピアノも運ぶことができ、調律が狂わないように振動を極力減らすように作られている。ピアノ以外にもオーケストラの楽器などを運ぶことがあるので、相当な重さまで乗せられる。

コントラバスやティンパニなど大きな楽器を舞台にまで上げる時には、エレベーター1基だけでは時間がかかる。その場合、迫（せり）という舞台の中央部分を搬入口があるフロアにまで下げる装置を使い搬入する。



美しいピアノ演奏で会場をわかせる牛田智大さん 7月14日サントリーホール

取材を終えて

プロの音楽家は生まれつき音楽の才能があり、小さい頃からあまり遊ばず、ずっと音楽中心の生活をしてきた特別な人だと思っていた。

鈴木さんと牛田さんはタイプが全く違う。牛田さんは想像していた音楽家のイメージにかなり近かったが、鈴木さんはもっと自由な感じだ。二人の答えが全く違うところが、とても面白かった。



取材中の特派員